

症例 1

■発 表 者■ 新戸塚病院 加 藤 みなみ

【横浜西部脳卒中地域連携の会】

■症 例 概 要■

右被殻出血により左片麻痺を呈した患者様です。左上下肢に重度の運動麻痺と感覚障害があり、高次脳機能障害として、注意障害や左半側空間無視がみられていました。

在宅復帰を目標として、上肢・下肢・体幹機能訓練、立位歩行訓練、A D L 訓練、机上課題や麻痺側の管理等の訓練を実施しました。

経過として、初期には介助が必要であった基本動作やA D L 動作は自立となり、歩行は装具と 4 点杖を使用し見守り、階段も介助にて可能となりました。

症例2

■発 表 者■ 新戸塚病院 平 砂 浩 美

【横浜脳卒中・リハ連携研究会】

■症 例 概 要■

症例は脳梗塞により深部感覚の鈍麻失調症状が著しく、入院時は立位バランス不安定で歩行も困難な状態でした。ADLも見守り～軽介助レベル。また、高次脳機能面は注意障害がみられていました。

リハビリでは自宅復帰し元々の趣味であった旅行などの外出も見守りで可能なレベルを目指し介入しました。介入は麻痺側の機能促通、協調運動を行い立位動作・歩行の段階を上げていきました。

機能回復に伴い、ご自宅での生活に沿った練習も取り入れました。結果、T字杖使用し屋内歩行、ADL自立レベルとなり、デイサービスやヘルパー利用により外出も見守りレベルでご自宅へ退院されました。